

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月9日			
平成16年度	事業コード	32310	電話	042-769-8360
担当部課名	土木部	道路整備	課	まちづくり道路 班
事務事業名	J R 横浜線小原踏切改良工事委託			
予算上の事務事業名	J R 横浜線小原踏切改良工事委託			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 2 章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第 3 節	円滑な道路交通の確保	15 年度
施策名	第 1 施策	道路渋滞箇所の解消	

2 実施根拠及び関連法令等

踏切改良促進法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
当該踏切については、幅員8.4mで歩道が未整備であったため、幅員15.0mに拡幅し、両側に歩道を設置することにより、踏切前後の歩道との連続性が確保され、歩行者や自転車の安全性を高め、事故防止を図るもの。	歩行者、自転車、二輪車、自動車	
	対象数	単位
	17206人・台 / 日	
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
踏切改良工事 歩道新設1式 鉄道支障施設移設1式		
(4)個別計画の概要	概要	
計画名	踏切道改良事業	
計画年次	15 年度 ~ 年度	
	道路交通上支障となっている課題箇所の解消 踏切道の整備、改良	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	整備実施率	整備延長 / 目標整備延長 * 100	踏切改良の目標整備延長に到達することが重要である。	13	14	15	16	17
						100		
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	人員・時間数			1人・10日		
	人件費			300		
	その他経費					
	合計	0	0	115,976	0	0
	特定財源			55,000		
	対象数(--)			17206人・台 / 日		
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	6.7	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度	<input type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C:達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	平成8年度から継続してJR東日本と協議を重ねた結果、踏切の拡幅整備について合意が得られたため、踏切内の歩道整備を行ったもので事業目標は達成できた。						
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・市民や社会のニーズにかなっている					
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/>	・状況の変化(対象や内容)に対応している					
	C:適応していない		<input type="checkbox"/>	・当初設定した事業目的が達成されていない					
		説明	<input type="checkbox"/>	・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある					
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/>	・上位の施策、計画目的達成のために有効である					
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/>	・期待された成果が得られている					
	C:有効ではない		説明	歩道の整備により、踏切前後の歩道との連続性が確保されたため、歩行者等の安全性が格段に高まった。					
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・予算や人員に見合った効果が得られている					
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/>	・他市と比べてコストや効率性が優れている					
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/>	・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている					
		説明	<input type="checkbox"/>	・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない					
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である					
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/>	・受益者の費用負担は適正である					
	C:公平でない		<input type="checkbox"/>	・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)					
		説明	当該道路は、幹線道路として多方面から利用されている道路で、踏切の利便性、安全性の向上の面から公平性が保たれている。						
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策			(7)今後の課題となっていること						
歩行者が安全に通行できる踏切道の整備を積極的に鉄道事業者に要請する。			公共交通機関である鉄道施設の改築で時間的制約を受ける工事であるが、周辺住民等への影響を考慮し、工期短縮に努力する。						

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
		他の自治体についても同様に鉄道事業者に工事を委託しており、それぞれの踏切で鉄道の支障施設が異なるため、比較することは困難である。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input checked="" type="checkbox"/>	完了(廃止)済	
踏切改良事業は、歩行者の安全確保やスムーズな道路交通の実現を図るため重要な事業である。本事業についても、歩行者の安全確保の観点から十分な効果が得られた。		

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--